

兵庫県水産技術センターだより

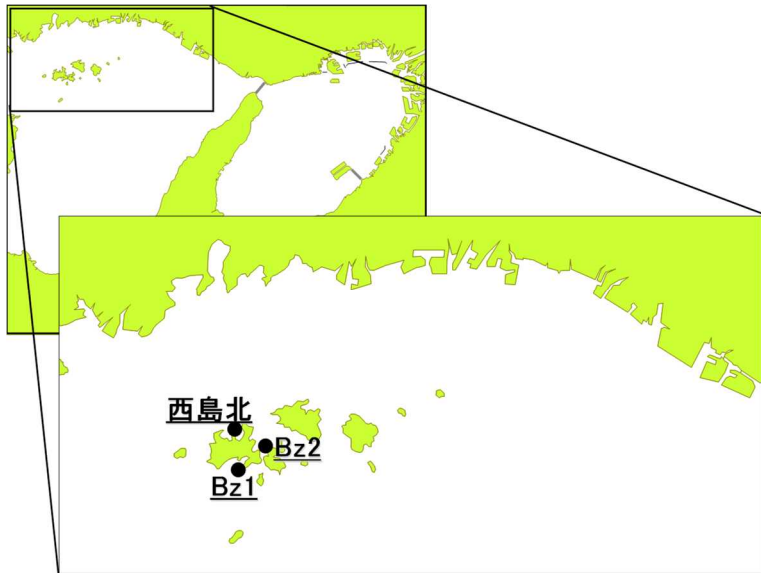
赤潮情報 AK-02-14 号 (播磨灘北部：臨時)

令和2年8月24日発行

8月24日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部：臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・シャットネラ(オバータ、アンティカ、マリーナ)の発生は確認されませんでした。
- ・コクロディニウム ポリクリコイデスがやや増加傾向にあります。
- ・今後とも海況や海色の変化にご注意願います。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値

注意体制： 10 細胞/ml 警戒体制： 100 細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制： 500 細胞/ml 警戒体制： 5,000 細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制： 50 細胞/ml 警戒体制： 500 細胞/ml

※コクロディニウム ポリクリコイデスについては本県では基準密度を設定していませんが、千~数千細胞/ml を上回ると漁業被害が発生する恐れがあるとされています。

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロブサ	シャットネラ・ベレキローサ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ヘテロシガ・アカオ
Bz1	0	0	0	0	0	0	0	126.0	0
	5	0	0	0	0	0	0	14.0	0
	10	0	0	0	0	0	0	4.0	0
Bz2	0	0	0	0	0	0	0	16.0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	5.3	0
西島北側	0	0	0	0	0	0	0	25.3	0
	5	0	0	0	0	0	0	32.7	0
	10	0	0	0	0	0	0	5.3	0

※本調査は、JF 坊勢が採水した海水を、水産技術センターで検鏡調査したものです。

【今後の調査予定】 次回は9月1~2日に定期調査(播磨灘)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報 AK-02-15 号」として発行予定です。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 宮原、中桐)
Tel : 078-941-8602 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>